

# 大池広場の活用は

新政会  
奥田 俊則



## 町長 多目的広場の案も含め検討



▲多目的広場の案を検討している大池広場

**問** 東部コミセンの建設は、大池広場から町道浜幹線沿いの緑の拠点建設予定地に変更し、大池広場は将来的に公園化した」と説明があった。「池」と住環境が調和した空間で、より良い活用を期待する」という地域の要望に対する町長の考えは。

**答** 多目的広場の案も含め、近隣の環境に配慮した活用方法を検討する。また、地域住民の方々と意見交換を行う。

**問** 歩行者の安全を確保した道路の計画、公道の検討は。

**答** 大池広場は町道に面

**問** 水道料金改定の周知は

**町長** 広報や冊子で周知

**問** 料金改定について、住民の理解を得るために取り組んだ内容は。

**答** 水道施設老朽化の状況、水道料金改定の必要性や検討内容を広報でお知らせした。また、料金改定に関する冊子を作成し配布した。町公共施設にも置いている。

**企業所有地の通学路は**

**町長** 所有者と協議を実施

**問** レイクタウンと播磨南中学校の間にある以前の通学路の安全対策を行い、再度使用する考えは。

**答** 地元からの安全対策に対する強い要望があったため、再度通学路としての使用を検討し、所有者と協議を実施している。

# 通学路安全点検の強化は

公明党  
大瀧 金三



## 町長 新基準に基づき再点検



▲グリーンベルト設置で安全に通学

**問** 千葉県八街市でのトラック事故を受け、通学路緊急点検の依頼があり、新たに「車の速度が上がりやすい場所」「地域住民などから改善要望があった」「ヒヤリハットの事例があった」などの観点が盛り込まれた。新基準に基づいた通学路再点検で危険箇所はなかったのか。

**答** 追加された3点の新基準も踏まえ、通学路の再点検を行い、対策が必要な場所が13カ所見つかった。通学路の変更やグリーンベルトの設置などの対策により安全性の確保

**問** 千葉県八街市でのトラック事故を受け、通学路緊急点検の依頼があり、新たに「車の速度が上がりやすい場所」「地域住民などから改善要望があった」「ヒヤリハットの事例があった」などの観点が盛り込まれた。新基準に基づいた通学路再点検で危険箇所はなかったのか。

**答** 追加された3点の新基準も踏まえ、通学路の再点検を行い、対策が必要な場所が13カ所見つかった。通学路の変更やグリーンベルトの設置などの対策により安全性の確保

**問** 災害時の避難場所となる学校体育館のエアコン設置に、地方創生臨時交付金の活用が認められた。大地震の不安や年々猛暑化してきている中、同交付金の活用などで早期に実現を。

**答** 体育館のエアコンの具体的な設置時期は決定していない。近年の地球温暖化や災害時における避難所としてのエアコンの必要性を考え検討する。

# 通学路の安全確保は

政風会  
岡田 千賀子



## 町長 PTA・学校・警察などと協力



▲南中の校門前「おもいやり横断歩道」

**問** 通学路の新たな安全対策は。

**答** PTAなどからも危険箇所の情報を提供いただき、通学路交通安全プログラムに基づき、安全対策を講じる。

**問** 町道浜幹線道路の速度規制や横断歩道の安全対策は。

**答** 生活道路ではないので、ゾーン30プラスなどによる速度規制は困難である。

**問** 播磨南中学校の校門前の横断歩道は、加古川警察より「おもいやり横断歩道」の指定を受け、歩

**問** 認知症への安心対策は

**町長** 個人賠償責任保険を検討

**問** 認知症になっても安心して地域で暮らしている施策は。

**答** 町内で、認知症症状があり、日常生活自立度Ⅱ以上で介護認定を申請されている方は約千人である。

**問** 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の事業化を進め、全額町で負担することを考えている。

**町長** 町内の医療機関で

**問** 安心して仕事と子育ての両立ができるように病児保育の実施は。

**答** 今年度、町内の医療機関で開設される。協議・連携し、保護者の方がより利用しやすい体制作りを目指す。

# 地元企業優先発注は

無所属  
香田 永明



## 町長 新しい入札制度を考える



▲入札制度をどう改革するのか

**問** 地元企業の育成には行政が投資した資金が域内で循環する地域経済の活性化が必要である。そのためには、地元企業優先発注を行うことが有効だが、どのような考えで入札制度を改革するのか。

**答** 契約案件の予定金額に応じて総合評価方式を導入するなど、町に貢献いただいている企業が優先的に工事に参加できる仕組みを考える。今後、「災害時応援協定」や「工事の績点数」を応札要件に含め、品質の高い工事を行う町内業者が、規模の大きい案件に参加できる制度の導入を検討する。

**見守りカメラの運用は**

**町長** ICTを活用した方式を想定

**問** 見守りカメラの設置運用は、具体的にどのようにするのか。

**答** 見守りカメラの設置は、管理運営上、ICTを活用したネットワーク方式を想定し、機器の保守は業務委託することを考えている。

**問** 具体的な設置台数、予算、設置場所、運用方法は、関連事業者などからも情報収集し、設置、運用方針の策定を検討し、最終方針を定め進める。

**問** AIカメラを設置することで、新たなイベントの創出機会ができるが見解は。

**答** AIカメラの設置は考えていない。現在は町内全域に広く見守りカメラを設置する方向である。